

● 世界銀行

ワシントンDCの世銀本部の正面入口に掲げられた「Our Dream is a World Free of Poverty」という言葉。世銀にとって、また世銀を株主として所有し活用する188ヶ国にとって、貧困のない世界はいつどのように「夢」から「現実」になるのでしょうか。

ミレニアム開発目標1A(所得が1日1.25ドル以下の人口比率を2015年までに1990比で半減)は中国を始め多くの国の成果により5年前倒しで達成されましたが、初等教育、幼児死亡率など多くの分野で目標達成は遅れています。2008年以降の経済成長減速に加え気候変動や自然災害が貧困に影響を増し、安定国から紛争・脆弱国へ、農村部から都市部へと貧困の重心が移行するにつれ、求められる政策支援もマクロな構造調整や大規模インフラ中心の公共投資から社会保障をはじめラストマイルの行政サービス、またジェンダー、貿易・食料価格から雇用・産業競争力まで範囲の拡大を続けています。他方でG20や地球サミットのようなハイレベルフォーラムから各国前線の民間主体や市民社会の活躍まで、地球規模課題を取り巻く政策対話・資金拠出・知識協業の幅と深みは増す一方で、個別の開発機関には自らの比較優位を活かし他と補完し合う選択的な関与の仕方、すなわち戦略が益々求められています。

世銀グループは世界中で、経済成長と貧困削減に関わるほぼあらゆる部門で仕事をしています。担当国・地域や課題分野の実情、また協業相手の機関や当事者個人が直面する状況に応じて、私達が実務家として日々体験する困難や達成感或いは未達成は実に様々です。たかだか1万人強の組織、借入国120ヶ国強のGDPの0.2%に満たない融資規模の世銀が、これほど圧倒的に複雑で困難な課題解決を如何ほど左右するのか。誤解を恐れず私見を述べるなら「世銀で出来なければ世界で他の誰に出来るだろうか」との自負が、多くの世銀職員を突き動かす原動力に思えます。

国際社会また借入国政府や民間主体を含めた政治的合意、資金動員、政策知見の蓄積を触媒するグローバル機関としての存在感。前線の国別課題解決と地球公共財を両立しうる課題関与の幅。透明で開かれたガバナンス、厳格な調達・社会環境配慮基準などに由来する正統性のみならず、各分野で随一の専門家を擁し重要課題に即応的な提言を続けてきたことへの信頼。幾つかの機関を内外から経験した立場から、これら世銀の提供価値は比類の無いものと感じます。他方、取り扱う課題やそれを取り巻くステークホルダーの利害の複雑さをそのまま内在化した形で、世銀の意思決定や資源配分や組織や業務過程の現在の在り方は、完璧とは程遠いものです。

私は入行してまだ数年ですが、こうした世銀の提供価値を担う幹部や職員をよく知るにつれ、その能力と規律と情熱、また謙虚さや親身に後進を育てる姿勢に感銘を受ける毎日です。世銀が至らない部分につき改善や改革を続ける必要があるのは当たり前ですが、益々複雑化し緊急度を増す開発を巡る諸課題を上回る速度で課題解決の組織能力を強化しようとする現在の取り組みは、おそらく過去10数年で最も抜本的なものです。貧困のない世界を現実にする仲間が、日本からもより多く参画してくれることを願ってやみません。

金平直人(かねひらなおと)

1977年富山県出身。2000年慶応大学総合政策学部卒、2008年ハーバード大学ケネディ行政大学院・MITスローン経営大学院修了。大学在籍時モバイルインターネット分野で起業、卒業後マッキンゼー・アンド・カンパニーにて主に通信・電機・自動車業界の成長戦略策定に携わる。留学を機にUNDPマケドニア事務所およびCONGO/EUSR(欧州連合特別代表部)にて民族融和と民間セクター開発に従事。非営利法人ソケット代表を務める傍ら2010年にYPとして世銀入行、欧州地域・南アジア地域の産業競争力研究、中小企業新興、イノベーション政策を担当。現在は予算編成・業績評価・戦略企画総局にて財務面から世銀改革に関する経営層の意思決定と施策実施を支援。



● アジア開発銀行

近年、アジアほど急速な発展を達成し貧困率を低下させた地域はありませんが、いまだに世界の貧困層の3分の2に相当する8億人以上のアジアの人々が困窮に苦しめられています。一方で、中所得国入りした多くのアジアの国々は拡大する貧富の差など社会経済的に新たな課題に直面するようになり、援助に対するニーズも急速に多様化しています。このようにダイナミックな成長を続けるアジアの高度かつ複雑なニーズに柔軟に応えるのがアジア開発銀行です。

私はYPとして入行以来、東アジア局、中央西アジア局、現在の東南アジア局、と一貫して地域局に身を置いてきました。そこは被援助国との政策対話を通じて各国の状況を的確に把握し、効果的な技術支援や開発案件を形成し実施管理する開発援助の前線です。各国のニーズに応えるために我々は常に高い専門性を有することが求められ、また、グローバルに推し進めるべき気候変動対策、厳格な社会環境配慮や開かれた調達手法などを被援助国に理解してもらい、各国の事情に見合った形で実施していくことも望まれます。しかし、開発援助の技術や知識の流れは一方通行ではなく、被援助国に学ばされることも多々あります。それらをフィードバックし、組織の施策やガイドラインの改善に活かしたり、得られた知識や経験を他の被援助国にて活用する南南協力を促進するのも大切な職務です。

ベトナム駐在員事務所に籍を置くようになってから被援助国から謙虚に学ぶことの大切さと、そこに我々が個人としても組織としても向上するためのヒントが多く隠されていることをことさら強く実感するようになりました。また、被援助国が抱える諸問題は必ずしも途上国特有のものではなく、中には先進諸国も未だに苦慮している課題である場合もあることに気づかされました。民間主導型開発の促進や国有企業の民営化、はたまたエネルギーセクターにおける再生可能エネルギーの導入や電力システムの改革はその一例に過ぎません。従い、被援助国の問題に対して、上から目線ではなく、自分に密接する問題として、誠意を持って取組む姿勢が有益な支援に繋がると信じるようになりました。我々が提案する発展シナリオと被援助国が描くものが異なることもあり、意見をぶつけ合うことも多々ありますが、このようにクライアントの目線で真摯に途上国の発展に共に身を捧げる日本からの仲間が増えることを期待しています。

葛野高文(かどの たかふみ)

エネルギー専門家、東南アジア局エネルギー局(ベトナム駐在員事務所)。ベトナムを中心に東南アジアの電力セクターを担当。2006年に東アジア局農業・環境・天然資源課にYPとして入行。2007年より4年半在籍した中央西アジア局エネルギー課ではアフガニスタンやキルギスタンを担当。2011年に東南アジア局へ異動し、2012年より現職。入行前は日本工営(株)に7年間勤務、エンジニアとして水力発電を中心にアジアや中南米の多様なセクターに従事。幼少期を北米や欧州で過ごし、東京大学大学院社会基盤工学専攻にて工学修士号、同社会基盤工学科にて工学学士号取得。



● JPOから世銀へ

世界銀行は、2030年までの貧困削減、発展途上国での所得拡大の促進という二つの目標に向かっていきます。短期的な一点の貧困削減に止まらず、中長期的な視点も持つての貧困削減、そして、対象地域も世界全体でのバランスを考えており、私が関わっている天然資源管理の分野は正に、この姿勢を象徴しています。

西アフリカの漁業支援プロジェクトは、今ある漁業資源を如何に持続的に活用し続けていくか、目の前にある貧困削減を目指すのと同時に、次世代の貧困を防ぐべく未来へも資源を残し、一国一国では管理しきれない海境を越えて移動する回遊魚を地域で管理する事を考え、また同じく海境を越えて地域で操業する漁船も共同で管理しようと、西アフリカ地域が一体となって進めているプロジェクトです。

私は2011年世界銀行にジュニア・プロフェッショナル・オフィサー（JPO）として入行、約3年間を西アフリカのリベリア事務所まで過ごし、リベリアを拠点に、シエラレオネやガーナのプロジェクトを支援した後、2015年より本部に移動しました。先の漁業支援プロジェクトも、フィールド及び本部で支援しています。本部だけでなく、各国に事務所があり、プロジェクトの形成から実施そしてフォローアップまで現地にて密にサポートできる体制があるのも世銀の強みです。更に最近では、各分野にとらわれず、分野を越えた連携も図られています。漁業プロジェクトを例にとっても、漁業の法整備にあたってはガバナンス専門家の支援を仰ぎ、魚の燻製用木材として利用されるマングローブの持続管理に当たっては森林プロジェクトと合同で関係者会議を開催したり、道路プロジェクトと販路となる道路の整備を検討したり、電化プロジェクトと冷蔵冷凍施設への電力供給の可能性を模索したり、また漁獲物の販売促進のための民間セクターの呼び込みにあたっては世銀グループの国際金融公社（IFC）と可能性を模索しています。課題も多いですが、このように、時、場、思考、セクター、どれをとっても幅広くダイナミックなのが世界銀行の面白さであると実感しています。私はまだ数年しか経験していませんが、これからも、より多くの人々が世界銀行で勤務する機会を得、この面白さを一緒に感じられると嬉しいです。

近藤沙千子(こんどう さちこ)

世界銀行、環境天然資源管理グローバル・プラクティス所属、天然資源管理専門家。1978年佐賀県生まれ。東京大学農学部卒。政策研究大学院大学国際開発研究修士。大学院卒業後、現NTCインターナショナル株式会社のコンサルタント会社に所属し、国内の農村開発事業に約二年、海外の農村開発事業に約六年半従事。技術士農業部門。リベリア事務所にて、漁村コミュニティ開発支援するJPOのポストを見て応募。2011年世界銀行入行。リベリア事務所に約三年勤務した後、2015年よりワシントンDC本部勤務。主に、西アフリカの水産資源や森林資源の持続的利用を目指したプロジェクトに従事。



● 米州開発銀行（IDB）

ラテン・アメリカ全体で水へのアクセスがない人口は約1億人と言われています。また、アクセス自体はあっても、何時間も歩く必要がある、常に安心して飲める水質ではない、日常的に断水があるといった問題を抱える人々が数え切れないほど存在します。きれいな水や衛生設備へのアクセスは、乳幼児死亡率等にも大きな影響を与える重要な問題です。振り返って自らの環境は、一週間後に2時間の断水があるとの通知でも受け取れば「大問題」と感じる恵まれた状態。改めて、当たり前安全な水が安定的に供給されることの有難さを実感します。

この切実な問題を解決するための支援をしている水・衛生課（Water and Sanitation Division）で、2014年からヤング・プロフェッショナルとして働いています。期間二年のプログラムで、原則として一年ずつ2つのポストに就くこととなり、短期間で配属先部署の役割を理解し成果を出すことが求められます。前職で積んだ経験を活かしつつ、主に財務や組織・制度面での持続性の向上に何が重要かという視点で水・衛生課の融資案件や技術協力案件等に関わっています。

地理的には遠いラテン・アメリカですが、日系人の活躍などから親日的な国が多く存在します。初めての出張先となったパラグアイもそのうちの1ヶ国、日系人が約7,000人暮らし、東日本大震災の際には豆腐百万丁支援プロジェクトが立ち上げられました。そんな絆を感じつつ、人々の健康や環境の改善にもつながる下水整備プロジェクトに携わりました。

まだまだ周りから吸収することが多いものの、同僚たちとディスカッションしながら、ラテン・アメリカ各国の課題解決を効果的に支援するアイデアを具体化し、実施するために努力しています。課題は尽きないことから、新しいことにチャレンジし創意工夫する余地には限りありません。

米州開発銀行グループ全体を俯瞰してみると、各国の多様な実情を反映し、インフラ、防災、気候変動、金融、IT、教育、ジェンダー、統計、治安、民間セクター支援など、ありとあらゆる分野で大小さまざまな案件が実施されています。一案件の実施にも、エンジニア、エコノミスト、環境スペシャリスト、調達スペシャリスト、弁護士など、多くの職員がチームリーダーの下で一丸となって働きます。更に、そうした案件の実施を支えているリスク管理、資金調達、人事、広報などの分野でも、その道の専門家が働いています。どのような分野の専門性であれ、また年齢に拘わらず、課題先進国ともいわれる日本で磨いてきた力を発揮し活躍できる場が見つかるはず。是非、その力をラテン・アメリカの人々のよりよい未来のために！

佐々木 啓介(ささき けいすけ)

米州開発銀行、インフラ・環境局水・衛生課所属。2014年に同課にヤング・プロフェッショナルとして入行。ラテン・アメリカ全域の上下水道や固形廃棄物関連の案件の財務・組織・制度面での持続性に係る分析や提言を担当。入行前は、国際協力銀行に勤務。財務省に外向し主に環境分野におけるMDBsのファンドオペレーション関連業務に従事したことをきっかけに、MDBs業務への関心を高める。カルロス三世大学MBA、東京大学経済学部卒。



昨今の経済・金融危機や気候変動などグローバルな課題への対応が求められるなか、MDBsの果たす役割はますます重要となっています。我が国は、より多くの熱意ある日本人職員の採用を各MDBに強く働きかけており、各MDBもリクルート・ミッションの我が国への派遣等、その声に応えているところです。

MDBsでは専門分野での経験・実績のある即戦力の人材が求められていますが、その他にも、若手専門職員養成プログラムであるヤング・プロフェッショナル・プログラム (YPP) や、将来の正規職員となるために必要な知識・経験を積む機会を提供するジュニア・プロフェッショナル・オフィサー (JPO) 等、様々な採用プログラムが設けられています。

●世界銀行グループ Senior Recruitment Officer Roberto Amorosino



世界銀行グループは、世界中の開発途上国に対する資金面及び技術面での支援において重要な役割を担っています。具体的には、譲許的な資金の提供に加えて、途上国政府に対する政策提言や、調査・分析、技術協力などを行っています。世界銀行は2030年までに2つの目標を達成することを目指しています。1つは1日1.25ドル未満で生活する人口の割合を3%まで削減し極度の貧困をなくすこと、1つは各国の所得の下位40%の人々の所得を引き上げることによって繁栄の共有を促進することです。

貧困に国境がないのと同様、有望な人材も国境を越えて存在します。それゆえ、世銀は、世界中から有能で才能のある人材を求めており、性別も国籍も、民族的背景も様々な職員で構成されています。

優秀な人材を確保するためには、常に成長できる職場環境を提供する必要があります。世銀は、説得力のある使命と目標、挑戦的でやり甲斐のある仕事、多様な人材が活躍する職場、知的ダイナミズムのある環境、継続して学び、キャリアや自分の価値を向上させるチャンスを提供することを約束します。

同時に、世銀職員には、専門家としての高い成果を挙げることに、技能の質を高く維持し続けること、必要に応じて途上国を含む様々な地域で任務に就くこと、専門知識を効果的に活用することを期待しています。

世銀は多様な人材の採用を最も優先しています。140ヶ国以上から集まった様々なバックグラウンドや経験を持ったスタッフは世銀の財産であり強みでもあります。私たちは世界各国で有能なスタッフを探し、研修等を通して彼らの能力を最大限に発揮してもらうことにより、多様性が尊重される環境づくりを促進しています。

世銀は、関連分野での修士号又は博士号を有し、職務経験が豊富な開発の専門家を求めています。政策レベルでの開発問題に対する広範な理解と、国際的な業務経験は非常に有益です。加えて、英語の他にも第二外国語ができるなど高い言語能力が期待されています。世銀はまた、若手、ミッドキャリアのスタッフに対し、ヤング・プロフェッショナル・プログラム、アナリストプログラム、インターンシップ等多くの制度を提供しています。

私たちの職場では、10,000人以上の、経済、公共政策、国際金融、教育、エネルギー、社会科学、環境科学、その他様々な分野の専門家が働いています。世銀本部はワシントンD.C.にあります職員は3分の1は全世界100カ所以上の現地事務所で働いています。

●アジア開発銀行 予算・人事・経営システム局長 神崎康史

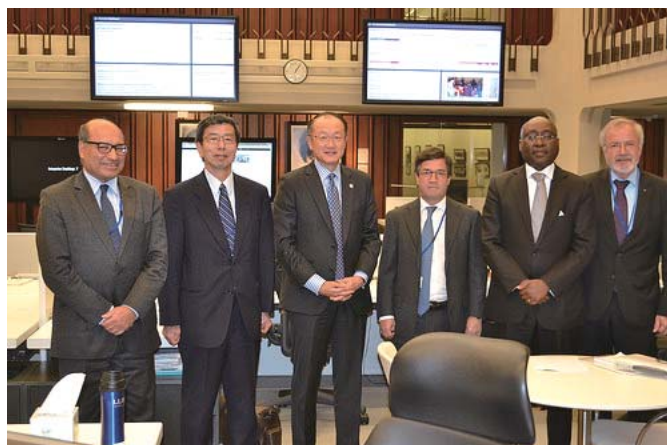


アジア開発銀行 (ADB) には加盟諸国から様々な価値観、文化的背景を持った職員が集まってきています。その中で成功する為には、それぞれの専門分野において深い知識、優れた能力を持っていることに加えて、アジアの貧困を無くし、人々のより良い生活を目指すADBの使命に対する情熱を持っていることも大切です。開発の為に最良の問題解決方法を、アジアの人々と一緒になって考え実行していくには、創造力、忍耐力も求められます。

我々は、ADBがこれからどのような人材を求め育成し、どのようなリーダーシップを醸成し、また、どのような職場環境を作り出そうとしているかを記した、「ピープルストラテジー」というものを策定致しました。職場としてのADBに興味のある方は是非御一読下さい。

日本はADBの最大拠出国です。日本人職員は140人以上を数え、各所で重要な職務に就き、不可欠の存在になっています。

ADBは今、次の時代に向けて大きく飛躍し、アジアの国々の更なる発展の為に尽力していこうとしています。日本の皆様と、同じ目的を共有しながら一緒に職場で働けるのを楽しみにしております。



写真提供：ADB

●米州開発銀行 人事局長 Claudia Bock-Valotta



米州開発銀行 (IDB) は中南米カリブ地域における持続可能な開発を使命とする開発金融機関です。1959年に設立され、地域開発金融機関では最も古い歴史を有しています。融資、保証、技術協力、政府との対話といったツールを用いて、開発途上各国のあるいは地域全体の経済・社会開発の促進に貢献しています。IDBは今後10年にわたり、(i) 貧困削減及び格差是正、(ii) 気候変動及び再生可能エネルギー対応という2つの大きな課題の達成に取り組む予定です。

IDBが開発途上各国のパートナーとして使命を実現するためには、組織の貴重な資産である人材が重要な役割を果たします。ワシントン本部、中南米カリブ地域の26地域事務所、東京、マドリッド事務所で毎年約150人を採用しています。募集はホームページ (URL: <http://www.iadb.org/en/careers/careers-at-the-idb,1165.html>) に随時掲載されます。現在は、人材の多様化、特にジェンダーバランス・管理職への女性の登用を進めています。

新規職員は各種研修プログラムに参加します。また、多様な分野における経験を積ませることで様々なキャリア開発支援の機会を提供します。

IDBは、高い専門性ととともに、固定観念にとらわれない柔軟な考え方、何より開発途上国支援への熱い想いを持つ人材を求めています。皆様のご応募をお待ちしています。

●アフリカ開発銀行 人事局長 Joseph Oluwafemi BADAKI



1964年に設立されたアフリカ開発銀行 (AfDB) は、アフリカにおける持続可能な経済成長及び貧困削減を実現することを使命としています。

最近、AfDBは、アフリカの成長の質の改善のために、「インクルーシブな成長」と「グリーン成長への移行」の二つの目標を柱とした長期戦略 (2013-2022年) を策定し、5つの優先分野を定めて活動しています。この新しい課題に対応するため、日本を含む、全世界からの支援を必要としています。

加盟78カ国の結束を基盤とした、文化および国籍の多様性がAfDBの強みです。そのため、日本のように職員数が少ない国籍からの採用を進めています。また、ジェンダーバランスに鑑み、女性の応募もお待ちしています。

AfDBは、各部署で必要とされる専門的能力の他、多文化環境への適応力があり、アフリカ開発に意欲的な人物を求めています。AfDBが現在取り組んでいる重点セクターは、日本人が高い能力を持つと評判の分野であり、皆さんがこれらのセクターで活躍していただくことを期待しています。

正規職員に加えて、32歳以下の人材を対象にしたヤング・プロフェッショナル・プログラムや30歳以下の修士課程在籍者を対象としたインターンシップも実施しています。

AfDBは福利厚生も手厚く、フレックスタイムを採用しており、人やイノベーションに焦点を当てたフレキシブルな職場環境を提供しています。アフリカ開発に熱意のある方々は是非ご応募下さい。また、リクルートミッションも実施していますし、2012年10月に開所したアジア代表事務所でも、詳しい情報を入手できます。

●欧州復興開発銀行 人事局総局長 Adrian Cojocaru



European Bank
for Reconstruction and Development

—違いをもたらす投資—

欧州復興開発銀行 (EBRD) は、20年以上にわたり市場での資金調達に困難なプロジェクトを支援してきています。EBRDは、64カ国、欧州連合 (EU) 及び欧州投資銀行 (EIB) によって構成され、中央アジアや地中海南部及び東部地域の国々を含む欧州30カ国以上を対象に支援を行っています。EBRDの活動は民間及び公的セクターの両方にわたり、また国家などを株主とする点において、民間商業銀行に比べリスクに対する耐性が高いという強みを持っています。

たとえばチェルノブイリ原子炉の長期にわたる安全性確保やアラブの春を受けての民主主義経済への移行促進など、様々な課題をもつプロジェクトへの取り組みをはじめ、EBRDにおける職務経験は他では経験できないかけがえのないものとなるはずです。あなたが下す決断や調達した資金により、支援対象国全体への支援が行われ、そこに暮らす数多くの人々の生活が変わることもあります。時には、我々の支援対象先の中でも最も辺境な地における小規模ビジネスを可能とするかもしれません。

あなたが銀行家であれ、エコノミストや弁護士、IT専門家であれ、EBRDはあらゆる場で様々な挑戦がいのある機会を幅広く提供します。EBRDは支援対象地域において、その能力を最大限発揮する真の国際機関となるため、特に日本人の皆様の皆様のご応募を大歓迎しております。

最新の募集状況やメールリストへのご登録は、以下のウェブサイトをご覧ください。

www.ebrdjobs.com

We invest in changing lives.

採用関連一覧

	主な採用職種	応募資格	応募期間	備考	関連ホームページ(採用についての詳細情報)
世界銀行	YPP	・採用時 32 歳以下 ・関係分野の修士号または博士号 ・3年以上の実務経験	(例:2014 年) ・5月1日出願開始 ・6月30日出願締切 ・書類審査後、12 月より面接審査	・勤務期間は2年間 ・プログラム終了後、正規職員(幹部候補生)として採用の可能性	採用関連ページ http://www.worldbank.org/ja/country/japan/brief/careers リクルートミッション実績(2015 年 2 月) http://www.worldbank.org/ja/news/feature/2014/12/17/world-bank-group-recruitment-mission-2015
	JPO	・採用時 32 歳以下(30 歳以下を優先) ・関係分野の修士号 ・2年以上の実務経験	(例:2013 年) ・8月中旬出願開始 ・9月中旬出願締切 ・書類審査後、9 月後半頃より面接審査	・勤務期間は2年(1 年延長可能)	
	ミッドキャリア	・関係分野の修士号または博士号 ・5~10 年以上の実務経験	(例:2013 年) ・6月下旬出願開始 ・7月下旬出願締切 ・書類審査後、8 月中旬より面接審査	・勤務期間は2年(1 年延長可能)	
ADB	YPP	・採用時 33 歳以下 ・関係分野の修士号保有者を優先 ・3 年以上の実務経験	(例:2015 年) ・選考期間は1月~3月 ・応募者は事前にオンライン登録	・勤務期間は3年間 ・プログラム終了後、正規職員(幹部候補生)として採用の可能性	採用関連ページ http://www.adb.org/site/careers/main
IDB	YPP	・採用時32歳以下 ・英語、スペイン語が堪能 ・関係分野の修士号 ・2年以上の実務経験	(例:2014 年) ・5月1日~6月10 日応募受付 ・10月、候補者に対する面接 ・翌 2015 年1-2 月、契約開始	・勤務期間は2年間 ・プログラム終了後、正規職員(幹部候補生)として採用の可能性	採用関連ページ http://www.iadb.org/en/careers/career-opportunities,1821.html
AfDB	YPP	・採用時 32 歳以下 ・関係分野の修士号 ・3年以上の実務経験 ・英語・フランス語の優れた能力	(例:2014 年) ・9月中旬~10 月初旬応募受付 ・書類審査、インタビュー ・合格者には翌 2015 年 3 月に通知	・勤務期間は3年間 ・プログラム終了後、正規職員(幹部候補生)として採用の可能性	採用関連ページ http://www.afdb.org/en/careers/current-vacancies/
EBRD	IPP	・ビジネス関連分野での修士又は同等の職業経験 1~3年の実務経験	(例:2014年) ・第1四半期に応募受付	・23ヶ月の任期付きで雇用。18ヶ月間はロンドン本部、5ヶ月間は支援対象国の地域事務所で勤務 ・2011年から導入	採用関連ページ http://www.ebrd.com/careers-at-the-ebrd.html リクルートミッション実績(2014年5月) http://www.ebrdjobs.com/fe/tpl_ebrd01.asp?news=ij&id=103067

国際開発金融機関の仕事に興味がある方、
また、個別の国際開発金融機関についてご質問がある方等は、
それぞれ下記までお問い合わせください。

国際復興開発銀行 (IBRD)、国際開発協会 (IDA)

世界銀行東京事務所 <http://www.worldbank.org/ja/country/japan> (日本語)
〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル10階 TEL(03)3597-6650

国際金融公社 (IFC)

国際金融公社東京事務所

<http://www.ifc.org/japan> (日本語)
〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル10階 TEL(03)3597-6657

多数国間投資保証機関 (MIGA)

多数国間投資保証機関東京事務所 <http://go.worldbank.org/ENDHV5WHH0> (日本語)
〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル10階 TEL(03)3597-9100

アジア開発銀行 (ADB)

アジア開発銀行駐日代表事務所 <http://www.adb.org/jp/japan/contacts> (日本語)
〒100-6008 東京都千代田区霞ヶ関3-2-5 霞ヶ関ビルディング8階 TEL(03)3504-3160

米州開発銀行 (IDB)

米州開発銀行アジア事務所 <http://www.iadb.org/en/asia/idb-office-in-asia,1226.html> (英語)
〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル16階 TEL(03)3591-0461

アフリカ開発銀行 (AfDB)

アフリカ開発銀行アジア代表事務所 <http://www.afdb-org.jp/> (日本語)
〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-7 NBF日比谷ビル701 TEL(03)4589-8721

欧州復興開発銀行 (EBRD)

欧州復興開発銀行ビジネスデベロップメント駐日代表
〒102-0073 東京都千代田区九段北2-3-6 海外投融資情報財団内 TEL(03)6261-2977

国際通貨基金 (IMF)

国際通貨基金アジア太平洋地域事務所 <http://www.imf.org/external/oap/jpn/indexj.htm> (日本語)
〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル21階 TEL(03)3597-6700
採用関連 <http://www.imf.org/external/np/adm/rec/jpn/recruitj.htm> (日本語)